

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 平成28年度予算について（40分）</p> <p>平成28年度予算は、後期基本計画の初年度に当たり、市の将来像「鶴ヶ島は 元気にする～明日につながる活力のまち 支えあう安心のまち～」を実現していくために、各施策の取組を着実に推進していくスタートとなる大変重要な年度である。</p> <p>市長の基本方針は、将来への先行投資をして、農大跡地への企業誘致による安定した雇用の創出をする。また伝統行事や農産物など地域資源の活用を図ることで、若者や女性、働き盛りの世代が「鶴ヶ島に住み続けたい」と思えるような魅力のある地域づくりを推進する。</p> <p>また本市の高齢化に向け、市民センターを中心に支え合いの仕組みづくりをベースに地域包括ケアシステムの構築を進める。</p> <p>教育では、学校教育においては、授業手法や財政上の優先順位などに一層の工夫を凝らし、児童、生徒の学力の向上、生活態度の改善を図る必要がある。生涯学習においては、学校教育、健康づくり、文化活動の分野との相互乗り入れに努めるものとする。</p> <p>これが市長の予算編成の方針であります。総合政策部長の予算編成における留意事項等を参考に質問いたします。</p> <p>(1) 農大跡地の企業誘致の現状について</p> <p>(2) 扶助費、社会保障費の一般財源負担の増加を平成37年度でどの程度見込んでいるのか</p> <p>(3) 一部事務組合への繰出金は、平成37年度でどの程度見込んでいますか</p> <p>(4) 後期基本計画施策42、学習環境の整備と地域連携の充実の成果指標の中の、校舎の老朽化対策の優先順位について。また支え合いの中心となる市民センターの老朽化対策の優先順位について</p> <p>(5) 三学期制の早期実現について</p> <p>(6) 学力向上に向けた教育方針と新たな発想について</p> <p>(7) 小中学校におけるラジオ体操の普及について</p>	<p>市長 教育委員会教育 長</p>